



日の出町【東京都】 歴史文化基本構想

■策定年月：平成23年3月 ■人口：16,465人 ■面積：28km²
■担当課：日の出町教育委員会文化スポーツ課（平成30年3月現在）



文化財は、地域の環境の中で、人々の営みや長い歴史によって価値が見いだされ、守り伝えられてきた。単独で存在するように見える文化財でも、周辺環境や様々な文化と関連性を保ちながら存在している。関連する文化財と周辺環境も含めて総合的に把握し、関連文化財群という枠組みに基づいて新たな価値を見出し、文化財の保存活用を図る。

5 歴史文化を表す つのキーワード

木と石、川、信仰、
産業、街道

課題

- ・市街化調整区域での地区固有の文化的な景観との整合や調和
- ・昭和初期の建造物や橋梁や堰などの文化財としての評価、保存活用

保存活用方針

- ・関連NPOや地域の企業との連携
- ・町民登録文化財制度の創設
- ・時代に即した保存活用の推進
- ・歴史文化の教育への活用

保存活用のための取り組み

関連文化財群としての保存

文化財を単位として保護するのではなく、複数の文化財を相互に関連するまとまりである関連文化財群としてとらえ、その場所の自然と暮らしとともに保全している。



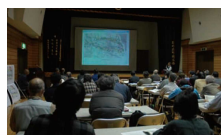
保存活用区域の設定

関連文化財群が集中的に分布する区域、あるいは数多く分布する区域を抽出し、保存活用を重点的に行う保存活用区域を設定している。



町民の主体的な保存活用

文化財の保存活用は、人々の暮らしとともにあることが重要である。町民の意志によって町民が主体となって保存することを基本としている。

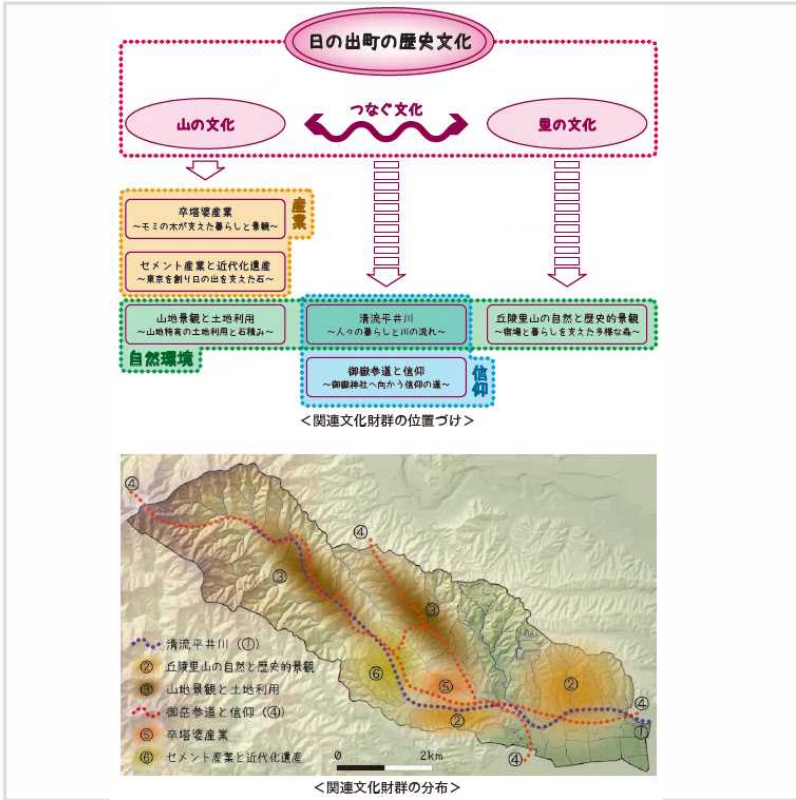


世代をこえた継承への支援

文化財は、親から子へ、子から孫へと伝えることが大事である。身近な生活の中で人を育て、ひきついでいくものとして、世代をこえた継承を重要なものと考え、町民によるさまざまな保存活用活動を支援している。



関連文化財群



ストーリー

- ① 清流平井川
- ② 丘陵里山の自然と歴史的景観
- ③ 山地景観と土地利用
- ④ 御嶽参道と信仰
- ⑤ 卒塔婆産業
- ⑥ セメント産業と近代化遺産

策定後の成果（見込まれる効果）

① 情報発信事業としてのDVD作成
 歴史文化基本構想策定後の平成26年度に、民俗DVDシリーズ「ときを超え伝え継ぐところ」（大久野の祭り、平井の祭り、日の出町の冬の行事）を作成し、試写会と関係部署への配布を行った。試写会には数百人が訪れ反響は大きく、日の出町の民俗に関して沢山の方に情報発信ができた。



② 後継事業としての山車の制作
 平成24年度町指定文化財「加美町の山車」の車輪新調作業を行い、平成26年その自在櫓（通称：ずり棒）の修理を行った。平成27年度は「加美町の山車」の工法を受け継ぎ、新規作成の「八幡の山車」の下回り軸組の作成を行い、平成28年度には山車が完成した。各制作工程において公開事業を行い沢山の町民が参加した。



③ 町民登録文化財の制定
 歴史文化基本構想策定に伴い様々な調査を行った。そのデータを基に文化財を身近に感じていただくため町民登録文化財制度を設立し、平成27年度から日の出町文化財保護審議会が中心となり選定を実施した。平成28・29年度に有形文化財【仏像】23躯、無形文化財1件、有形民俗文化財【石塔】26体、無形民俗文化財4件を登録した。

